

# 授業づくり ヒント&ポイント 2022

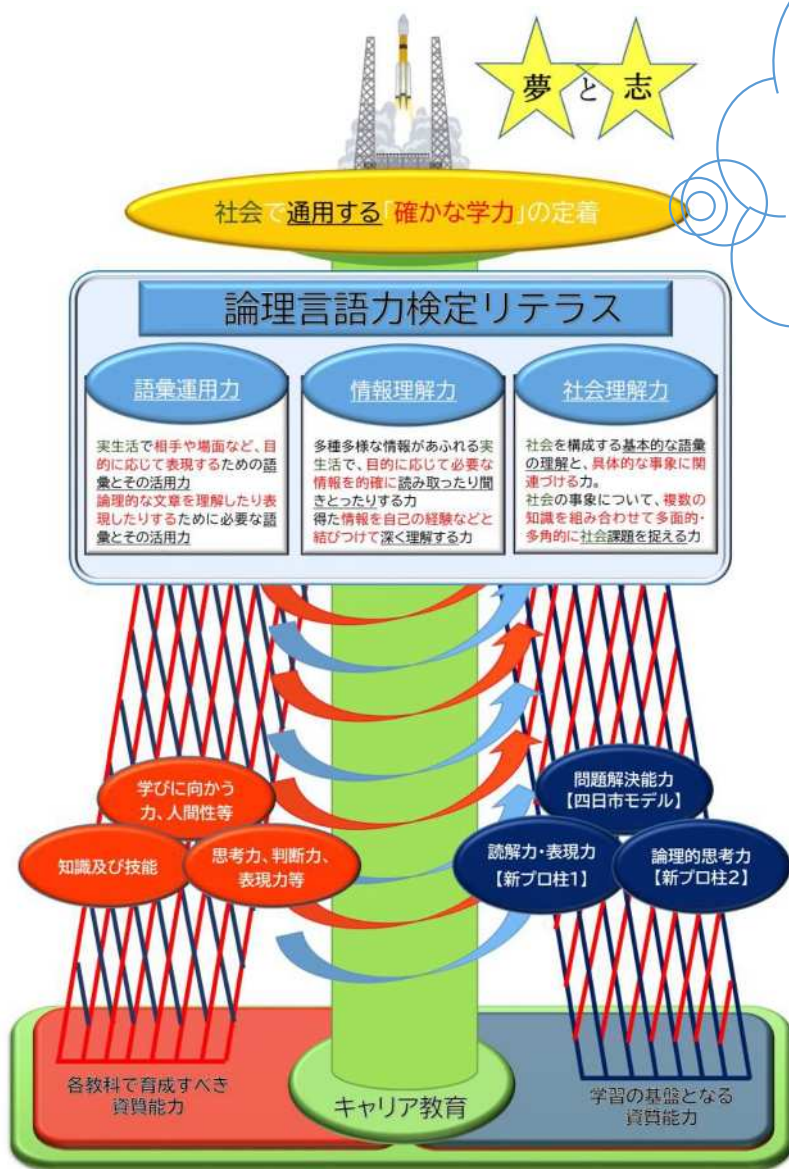
～ リテラス論理言語力検定 ～

今回の「授業づくりヒント&ポイント」では、教科等横断的に身に付けてきた力を測る「リテラス論理言語力検定」等の問題を例に、小学校や中学校の授業の中で、どの力をどのようにつけていくとよいか、効果的な取組を紹介します。

本冊子が、各学校における日々の系統的な指導の参考になれば幸いです。

## なぜ「リテラス論理言語力検定」をするの？

四日市市「リテラス論理言語力検定」イメージ図



### 社会で通用する「確かな学力」

語彙力をつけ、自分の思いをか  
に表現できる力

文章や資料を正確に理解し、読  
み解く力

学んだことを実生活や社会と結  
び付け、活用できる力

中学3年生で受検する「リテラス論理言語力検定」では、キャリア教育を軸として、教科等横断的に育成してきた資質・能力を基礎とし、社会で通用する確かな学力が身に付いているのか、総合的に把握することができます。

結果から、子どもたちは自分自身の強みや弱みを把握するとともに、それを卒業後の学習や生活に生かすことができます。

教師側は、結果を分析し、学校の授業改善を行うとともに、教師が実際に問題を解くことにより、これからの社会に必要な力を知る系統的な指導へとつなげることができます。

『Literas 論理言語力検定』出題例より

問題を解いてみよう！  
答えは下にあるよ。



「語彙運用力」(伝えたいことを正しく表現する力)を測る問題

問1 下線を言い換えたものとして最も適当なものを、①～④のうちから一つずつ選んで○をつけなさい。  
災害をきっかけに学区内のハザードマップを見直す。

- ① 契機      ② 因果      ③ 動機      ④ 要因

問2 空欄に当てはまる語として最も適当なものを、①～④のうちから一つずつ選んで○をつけなさい。

日本料理と西洋料理を\_\_\_\_\_させた、新しいジャンルの料理を創作する。

- ① 付随      ② 加味      ③ 密着      ④ 融合

情報理解力(多くの情報から正しく読み取る・聞き取る力)を測る問題

1. 次の資料を読んで後の問いに答えなさい。

【記事1】

乳牛のふんを利用したバイオガス発電の余熱を使ったバナナ栽培に取り組み北海道新得町の「友夢牧場」と札幌市の円山動物園が、A バナナの葉や茎をアジアゾウのエサにする取り組みを始めた。熱帯に生息するゾウにとってバナナは大好物だが、これまでまとまった量を手に入れるのが難しかった。飼育環境を整えて動物の暮らしを豊かにする「環境エンリッチメント」にも役立つ。

8日、円山動物園で贈呈式があった。前日に友夢牧場の温室で取り取られた900キロのバナナの葉や茎が運び込まれた。ゾウ舎の運動場の土に穴をあけ、茎を15本ほど立てた。

ここで飼育されている4頭のアジアゾウは2018年秋にミャンマーからやってきた。オスのシーシはバナナの茎を見るなり、突進して数本をなぎ倒して口に運んだ。メスのパールも鼻を器用に動かしながら、茎の皮をむいて中心部分から食べていた。

牧場は16年、バイオガスプラントを整備した。発電の余熱を使って農業用ハウスでメロンの水耕栽培をする「ぼら」。3年前からバナナの試験栽培を始めた。越冬期でも安定的に収穫できるようになり、昨秋から一般向けに出荷する。

バナナは実をつけたあとは枯れてしまうため、牧場では春と秋に若い株を残して伐採し、葉や茎は廃棄処分や堆肥にしていた。これに目をつけたのが、牧場と取引がある北海道銀行だった。同行は昨年、規格外などの農産物の有効活用策として農家と動物園とのマッチングを始めた。

一方の円山動物園では、ゾウたちに大好物のバナナの葉や茎を食べさせても、園内の熱帯鳥類館で育てているバナナをたまに、少量しか与えられなかった。友夢牧場のバナナはバイオガス生成の過程で出た牛ふん由来の肥料で育ち、農業や化学肥料を使っていないことから、ゾウのエサにうってつけだった。

近年、野生本来の採食行動を取れるようにエサの種類を増やしたり、与え方を工夫したりすることが重要になっている。動物のストレス軽減にもつながるとされる。

問1 下線部A「バナナの葉や茎をアジアゾウのエサにする取り組みを始めた」とありますが、この取り組みは友夢牧場と円山動物園にとってどのようなメリットがありますか。その説明の組み合わせとして最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。 【解答番号1】

	友夢牧場	円山動物園
①	伐採したものを有効活用できる。	ゾウのエサの管理や保管が簡単になる。
②	伐採したものを有効活用できる。	ゾウのエサに適したものを大量に確保できる。
③	バナナの品質を向上させることができる。	ゾウのエサに適したものを大量に確保できる。
④	バナナの品質を向上させることができる。	ゾウのエサの管理や保管が簡単になる。

問2 【記事1】の段落Xの役割の説明として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。 【解答番号2】

- ① 4頭のゾウの個体差を、エサの食べ方を例にしてわかりやすく説明している。  
② 円山動物園の動物展示の奇抜さを、ゾウの行動を詳しく書くことで伝えている。  
③ 円山動物園の取り組みがもたらした効果を、ゾウの様子を描写を通して伝えている。  
④ 飼育法の違いが動物の健康に与える影響を、ゾウの変化を例にして説明している。

問3 下線部B「これに目をつけたのが、牧場と取引がある北海道銀行だった」とありますが、【記事1】で紹介されている取り組みにおける北海道銀行の役割の説明として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。 【解答番号3】

- ① 動物園と牧場に新しい事業を提案することで、両者の収入を増加させる役割。  
② 動物園と牧場を結びつけることで、動物園の職場環境を改善する役割。  
③ 動物園と牧場の廃棄物利用の研究を援助することで、牧場の事業を拡大させる役割。  
④ 動物園と牧場との間を取り持つことで、両者の課題解決の手助けをする役割。

社会理解力(社会で起きていることを自分で考える力)を測る問題

問1 提示されている語句の意味を表すものとして最も適当なものを、①～④のうちから一つずつ選んで○をつけなさい。

インターネットを使って商品を注文して受け取ったり、実店舗を持たずにインターネットで販売ができたりするしくみ。

- ① サプライチェーン      ② プライベートブランド      ③ eコマース      ④ POSシステム

問2 次のグラフは各国の食料自給率を示している。

空欄A～Dのうち、日本にあたるものはどれか。

- ① A      ② B      ③ C      ④ D



注1) カロリーベース、製造物及び加工品については輸入原料及び輸入原料を算入して計算。注2) 日本の2019年度。農林水産省ホームページより作成 (https://www.maff.go.jp/j/syokuyu/zikyu\_ritu/013.html)

令和4年度 四日市市における効果がみられた取組

「語彙運用力」(伝えたいことを正しく表現する力)

○授業の中で計画的に「話す・書く」活動を取り入れる

- ・ 伝えたいことを熟語で言い換える。
- ・ 場面に一番合う語句を考える。
- ・ 話し言葉と書き言葉の違いを意識する。
- ・ 誰に伝えるのか、どんな言葉を使うのか、目的によって使う言葉を選ぶようにする。
- ・ 友達の発表や作文等からどの表現がよかったか伝え合う。

自分で言葉を選んで、積極的に使っていくことが必要なんだね。



「情報理解力」(多くの情報から正しく読み取る・聞き取る力)

○資料から必要な情報を読み取る活動を取り入れる

- ・ スピーチや発表を聞く際には、相手が伝えたいことは何かを考えながら聞くようにする。
- ・ 必要な言葉をメモしたり、話の構成を考えたりしながら聞く。
- ・ 必要な情報を理解したり、説明したりできるようにするため、観点を明確にして読み取る。  
(※読解力を育む『20の観点』の活用)
- ・ 記述内容から、言葉の意味や働き、構成など、論理的な構造を正しくつかみ、意味を理解する。

ある教科のみで取組を進めるのではなく、全ての教科で同じように取り組んでいくことが必要だね。



「社会理解力」(社会で起きていることを自分で考える力)

○学習内容と実際の生活とのつながりを意識した活動を取り入れる。

- ・ 各教科のふり返りの中で、学習した内容がどのように自分の生活とつながっているかを話したり、書いたりする。
- ・ スピーチや日記等で、社会で起きているニュースや話題について取り上げ、自分はどのように考えるのか人に伝えたり、書いたりする。

学んだことが自分の生活の何とつながっているか、社会を知ろうという意欲を育てていくといいんだね。



<「リテラス論理言語力検定」を受検した生徒の感想より>

学んできた知識などを使ったような気がした。今後は自分の課題である語彙運用力をつけて、自分の能力を高めていきたいと思った。

今後面接などをしていく上で、適切な日本語の話し方や使い方などができるようになりたい。



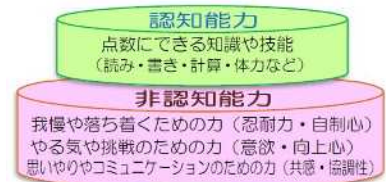
ニュースや人との会話の中などで得られた情報から、自分の体験を思い出したり、意見をまとめたりしたいと思った。

これからは、相手の考えや論点を意識して、意見の組み立てを工夫していきたいと思う。

似ている言葉でも、使い分ける力を自分は持っていることが分かったので、いろんな場面で活用していきたいと思う。

## 非認知能力を育成するために

非認知能力は、「学びに向かう力、人間性等」の育成に欠かせない力であり、キャリア教育とも関連させて育てていくことが大切です。



### 令和4年度 四日市市の子どもたち意識調査 ～非認知能力に関する質問項目～

質問項目一覧	肯定的回答割合											
	小4		小5		小6		中1		中2		中3	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
相手の立場や気持ちを考えながら、意見を聞くことができる	95%	96%	97%	96%	96%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
相手を思いやりながら、協力して活動することができる	92%	93%	93%	93%	92%	96%	96%	95%	96%	96%	97%	97%
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている	89%	89%	90%	89%	87%	89%	91%	90%	91%	90%	88%	94%
わからないことや知りたいことがあったとき、先生に聞いたり、本やパソコンで調べたりできる	86%	86%	86%	87%	89%	91%	90%	87%	90%	90%	93%	93%
自分の意見や考えを話すとき、友達にわかりやすく伝えようとする ことができる	85%	87%	85%	85%	86%	87%	89%	86%	89%	89%	92%	92%
様々な活動や体験を通して、「学ぶこと」や「動くこと」について 考えることができる	85%	85%	84%	83%	84%	88%	88%	84%	88%	88%	90%	90%
自分のよいところを発揮したり、伸ばしたりしようとしている	82%	84%	81%	79%	78%	82%	80%	80%	80%	80%	85%	85%
将来の夢や目標に向かって、学習方法の工夫や生活習慣の改善など、 努力することができる	81%	82%	82%	78%	78%	80%	74%	75%	74%	74%	82%	82%
何かをするときに、見通しをもって計画的に進めたり、やり方を 工夫したりしながら、粘り強く取り組むことができる	79%	80%	79%	79%	77%	81%	77%	76%	77%	77%	82%	82%
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	83%	81%	78%	76%	71%	72%	75%	72%	71%	72%	67%	78%
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習 や復習を含む)	76%	75%	77%	72%	72%	70%	81%	62%	65%	62%	63%	75%

上の表は、意識調査の「非認知能力に関する質問項目」を、肯定的回答の割合が高い順に並び変えたものです。質問項目ごと分析すると、四日市市の子どもたちは、

「強み」【思いやりやコミュニケーションのための力(共感・協調性)】

「弱み」【我慢や落ち着くための力(忍耐力・自制心)】

と感じています。これらを踏まえ、各校は授業や学校行事、家庭学習等の様々な場面で、子どもたち自身に計画や見通しを持たせ、学習を選択できるようにしていく必要があります。

## 「学習や生活等に関する質問」意識調査の活用

年間2回の意識調査で、子どもたちの意識の変化を経年で把握することにより、自校の課題を捉え、その課題の改善に向けて効果的な手立てを考えます。授業改善の視点や支援方法の工夫のため、各校の取り組みの指標として活用してください。

### データの見方①〔1回目・2回目比較〕

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか  
(学校の授業の予習や復習を含む)

中1		中2		中3	
1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
81%	62%	65%	62%	63%	75%

1回目と2回目を比べると、中1で「自分で計画を立てて学習できていない」と思う生徒が増えている ⇒ 中1の家庭学習の仕方を工夫する必要があるようだ

### データの見方②〔各学年比較〕

将来の夢や目標を持っていますか

1回目		
小4	小5	小6
88%	87%	77%

各学年を比べると、小6で「夢や目標を持っていない」と思う児童が増えている ⇒ 小6のキャリア教育の計画を見直してみよう